

# 古墳ってどんなもの？

「春日市文化財ガイドブック なるほどかすがの文化財」も参考にしてね！

## 古墳とはどんなもの？

古墳とは土をもり上げた墳丘を持つお墓のことで、今から 1400 ～ 1750 年ほど前にたくさんつくられました。

古墳はその当時の豪族などがつくったものです。古墳の形や大きさ、一緒に埋められている副葬品によって、豪族の力の大きさを知ることができます。古墳をつくるためには、たくさんの時間と働く人が必要でした。

古墳の形ってどんなものがあるのかな？  
かたちについて見てみよう！



### ハニワとは？



埴輪（はにわ）とは、素焼きのやきもので、古墳の上や周囲に並べておかれたものです。

### ハニワのつくりかた

粘土をひも状にして、積みあげて作っていきます。

### ハニワの種類

- ・円筒
- ・人（武人、巫女など）
- ・動物（馬、犬、鳥など）
- ・家 など多数あります。

## 古墳のかたち

①

上から見ると、円形をしている全国各地で多く見られる古墳です。

②

円墳と方墳をあわせたような形で、上から見ると鍵穴の形をしています。

③ 前方後方墳

方形と長方形（台形）の盛り土をつなぎ合わせた形の古墳です。

④

古墳時代を通してつくられた四角形の古墳です。

Q. 教科書にはどんな古墳がでてくるかな？（どんな形の古墳かな？古墳についてしらべてみよう！）

古墳

いつつくられた？

---

大きさはどのぐらい？

---

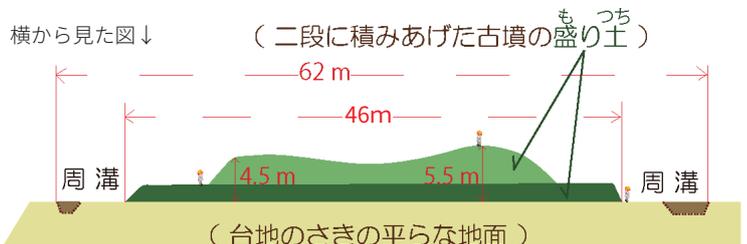
## 春日市にある古墳

### 国の指定史跡 日拝塚古墳



春日市下白水南にある前方後円墳です。6世紀中ごろにつくられたこの地域の有力者のお墓です。

古墳の大きさは、周囲にめぐる周溝を含めると長さ 60m 以上で、高さは 5.5m です。後円部の中には、高さ 2m もある巨大な石材を使った横穴式石室がつけられています。



日拝塚古墳は春日市最大の前方後円墳ですが、周溝まで含めるとどのぐらいの長さがあるかな？

⑤

